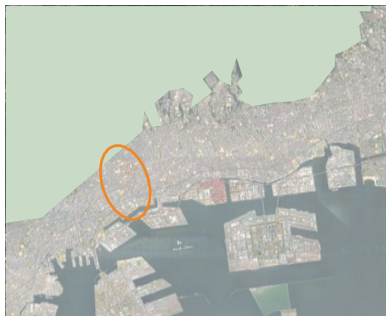




だれが、
どこに、
いる？

地域文脈

神戸市灘区



六甲山の麓に位置し、自然と都市が隣り合う独特の環境である。

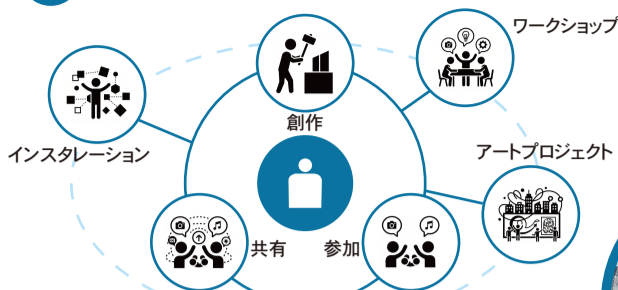
灘駅周辺



原田の森ギャラリー、王子動物園、兵庫県立美術館などの文化施設が線上に集積している全国的にも珍しいエリア。

社会的背景

芸術感の変化と都市の新しい価値



近年、芸術は「作品を鑑賞する行為」だけでなく、「創作すること・参加すること・体験を共有すること」自体に価値が見出されるようになってきている。インスタレーション・ワークショップ・まちのアートプロジェクトなど、日常の行為が芸術の一部になりうるという考え方が広がっている。



また韓国ホンデのように、若者の創作活動・独立ショップ・ストリート文化が融合し、「まちそのものが作品」のように振る舞うエリアが都市の価値を高めている。

現状の課題

街並みの統一感

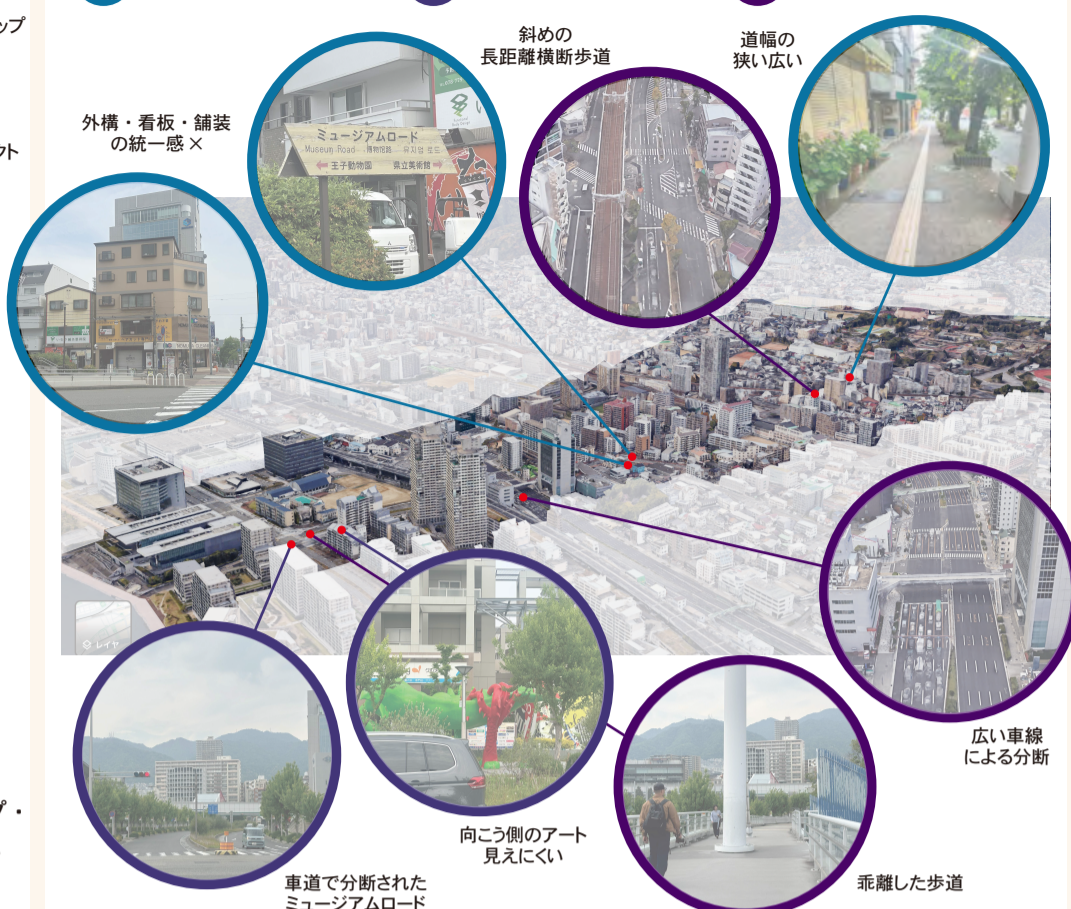
外構・看板・舗装の統一感×

回遊性の不足

斜めの長距離横断歩道

交通量と歩道

道幅の狭い広い



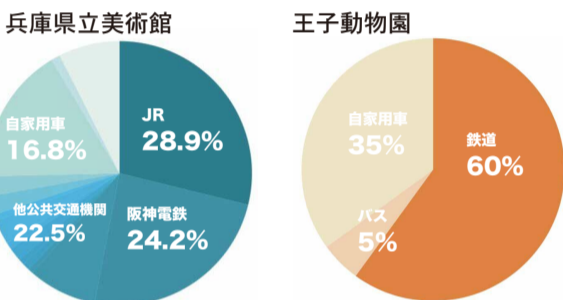
歩行と滞在



駅を降りると、兵庫県立美術館や王子動物園の方向に向かって立ち止まらずまっすぐ歩いていく人が多かった。

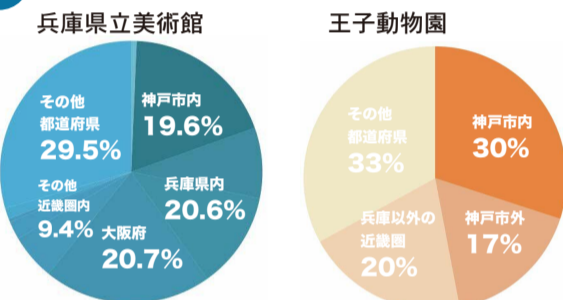
駅周辺以外にはベンチや日陰も少ないため、滞在している人も少なかった印象。

利用公共交通機関



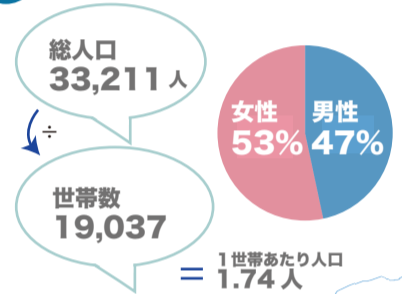
自家用車と比べて鉄道利用の割合が高く、公共交通機関への依存度が高いことがわかる。よって駅から目的地への移動手段が徒歩の人が多くこともわかる。

訪れる人の居住地



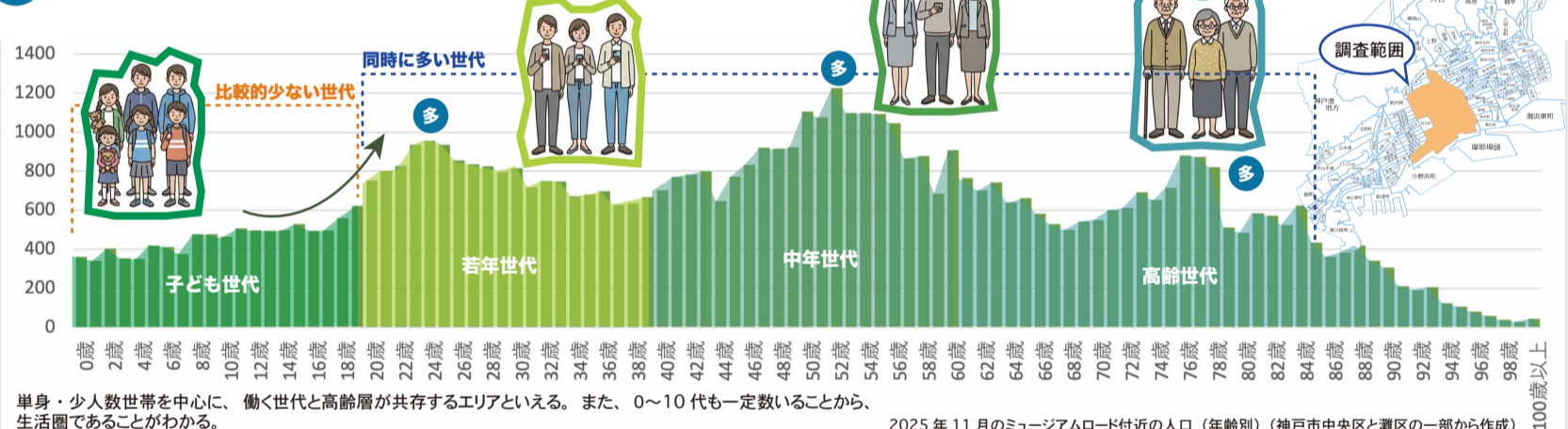
来訪者の約6割が兵庫県外から訪れており、広域からの集客性をもつエリアである。よって、日常利用よりも目的性の高い来訪が多いことが示唆される。

人口と世帯数



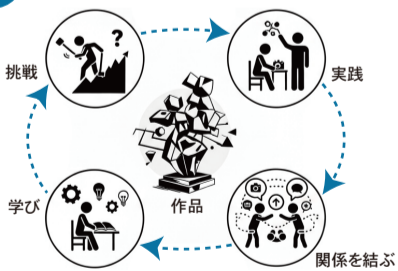
総人口に対して世帯数が多く、1世帯あたりの人口が少ないことから、単身世帯や少人数世帯が多いエリアであると考えられる。

ミュージアムロード付近の人口（年齢別）

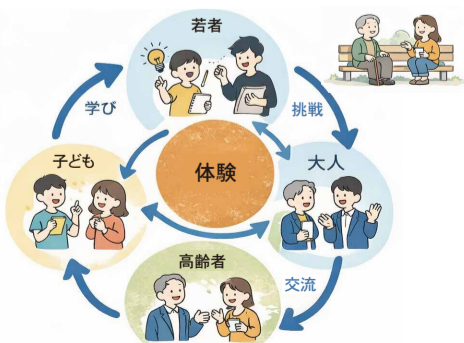


芸術の再定義

芸術とは



芸術とは、作品そのものではなく、人が挑戦し、学び、関係をつくるプロセスが可視化されることである。

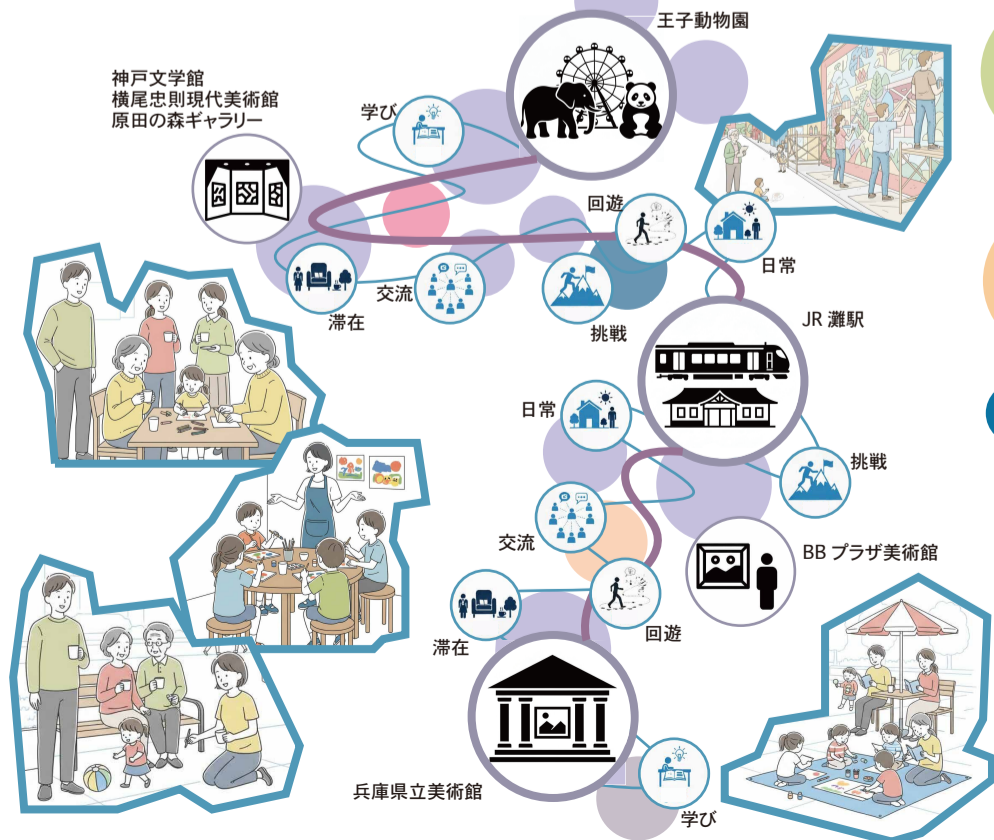


また世代の違いは分断ではなく、関係を生み出す想像の源泉である。

コンセプト

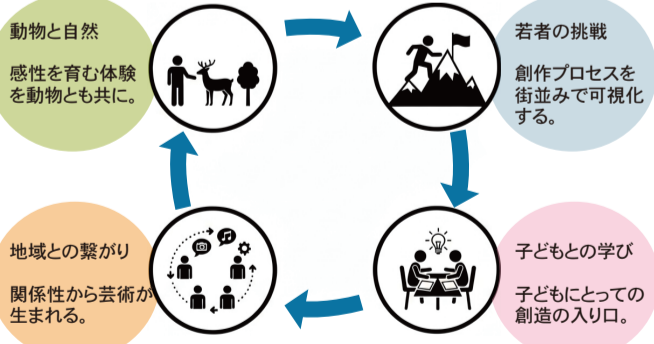
歩くこと自体が、芸術体験になる

若者の挑戦と地域の日常が連なり、街路が創造の舞台となる文化回廊。



点在する活動の連鎖

日常の活動が街路に現れ、人と人の関係が編み込まれることで、歩くこと自体が芸術となる。



街路の再編

ミュージアムロードを車道中心の道路から、人と活動が主役となる歩行者回廊へと再編する。色やラインによる視覚的誘導と、道沿いに点在する活動の場によって、回遊性と滞在性を高める。

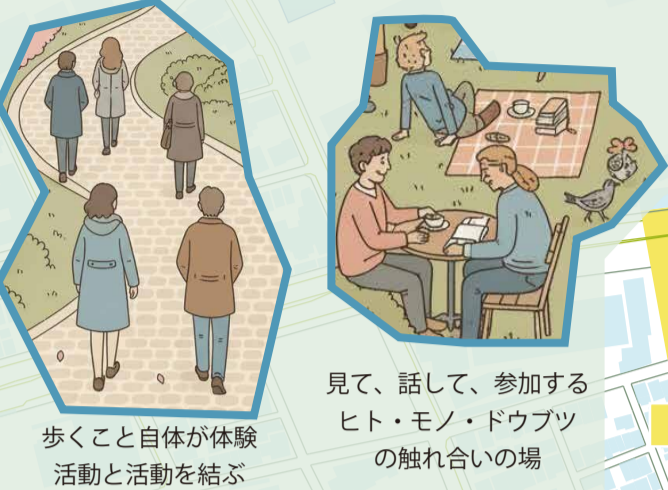


だれが、どこに、いる？

歩くこと自体が芸術体験となる。
若者の挑戦と地域の日常が連なり、街路そのものが創造の舞台となる。芸術体験をつなぐ「線」、滞在・交流・関係が生まれる場を提案する。

ART WORK
芸術体験をつなぐ「線」

STAY SPOT
滞在・交流・関係が生まれる場



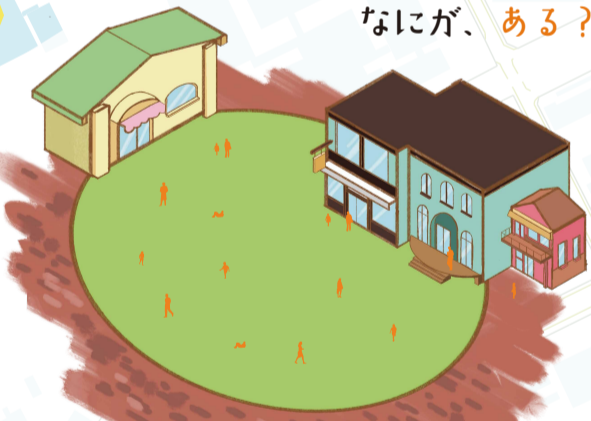
なにが、ある？



王子動物園に向かう途中にあしあとを見つけた！
これはライオンさんかな。どんなどうぶつが
待っているんだろう？



なにが、ある？



この辺お店がいっぱいある！
あ！この間買い逃した企画展示のグッズだ！
パンもケーキも美味しそう。買って外の広場で食べちゃおっかな。

なにが、おきる？



海の近くにある兵庫県立美術館に向かっていたら
おさかなの絵が地面にかかっている！
一緒に行ってるみたいでたのしいな。

なにが、ある？



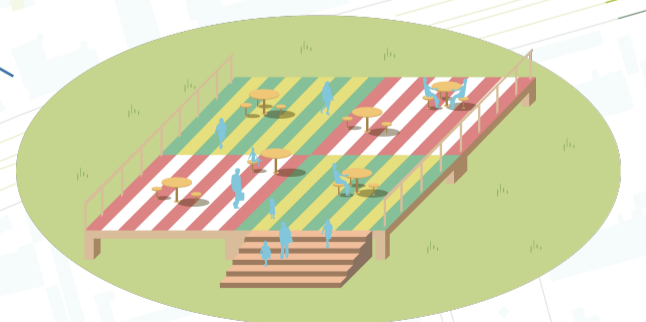
一本道のアートウォール。アートのまち、神戸で芸術活動に
取り組む若者たちが作品を自由に描き、飾る。
ここでは、ファッション、ベーカリー、アートを手がける若者たち
が展示しにきたみたいだね。

なにが、ある？



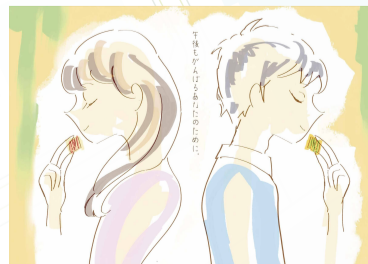
あれ、歩いていたら大きなドーナツが見えてきた！
これは誰がつくったんだろう。
なにに、どうやら近くのドーナツ屋さんのお姉さんが近所の
こどもたちと一緒につくったの？！

なにが、ある？



カラフルなウッドデッキがみえてきた！
これ、最近引っ越してきた画家さんが
塗ったんだって！のんびりできるしいね。

なにが、ある？



この広告、その
コーヒー屋のオーナーが
書いたんだって！